

令和6年度剣道中央講習会 千葉県伝達講習会

日時: 令和6年4月20日
9:00~16:00
場所: 千葉県武道館
講師: 教士八段 軽米先生
受講者: 坂西 田中

1. トピックス

- ・今年度から全ての大会は有観客で実施される
- ・11/3の全日本選手権は男女共に行われる(従来まで女子のみ長野で不公平との意見から)
- ・国体は国民スポーツ大会(国スポ)と呼び方が変わる
- ・地方審査会場について
 - 北海道審査を3年に1回は行う
 - 新潟県審査は宮城県審査に変更する
 - 長野県審査は山梨県審査に変更する
 - 沖縄県審査は5年に1回は行う
- ・都道府県への派遣講習会は2年に1回は行う

2. コンプライアンスの徹底

- ・昨年の内容からほぼ変わっていない
- ・令和2年9月 全日本剣道連盟は「一般財団法人」から「公益財団法人」に変わった
 - 適正な組織運営と法令順守に厳しくなっている
- ・剣道人口は減少傾向にありハラスメントには十分注意し指導する
 - 「剣道の理念」「剣道修練の心構え」「剣道指導の心構え」「ガイドライン」など今一度考えるべき
- ・「全日本剣道連盟における倫理に関するガイドライン」が令和5年11月に一部改正(追加)された(HP参照)
 - I. 反倫理的行為に起因する事項
 - 3. 差別・プライバシーについて
 - (2)性的指向及びジェンダーアイデンティティを理由とする不当な差別を行ってはならない。
 - III. 不適切な経理処理に起因する事項
 - 2. 不正行為について
 - (1)組織内外の金銭の横領など
ボランティアであるほど資金管理を厳しくする必要性を心すべきである。
- ・暴力に対する考え方を改める
 - 現代では通用しない

3. 新型コロナウイルスについて

- ・インフルエンザよりも感染力が強く、当分は続いていく傾向にある
- ・感染者は後遺症に悩んでいる人が多い
- ・動物感染も増えており人間に感染するケースもある
- ・面シールド下部を塞ぐフィルタスポンジについて
 - 飛沫防止に大きな効果を得ているので活用を推奨している

4. 女子委員会報告

- ・今年度女子の6段は1,800名、7段は1,000名を超える見込みである
- ・立ち合いの内容だけで審査すると女子の合格率はやはり低いので多角的な観点を検討
 - 女子については女性らしいしなやかさや体さばきなど見てもらいたい

5. 「剣道の理念」理解の深化に向けて

- ・「剣の理法説明版」を制定した(HP参照)
 - 全剣道人が「剣道の理念」の理解を深めるための一助として、「剣道の理念」の中核である「剣の理法」について全日本剣道連盟の考えを明示したものの。
 - 正しい指導の手掛かりにとして広く活用してほしい

6. 暫定的な試合審判法

- ・昨年と同じ資料であり今年度も継続する
- ・7月の世界大会でも活用する
- ・8月に「暫定的な」を取る
 - 試合時間の短縮 2-1のスコア増えた 技が増えた など良い効果が出ている
 - 試合審判規則の通りであり、今回は運営要領の手引きが変更になる予定
 - 8月に入ったらHPを注視してほしい

7. 木刀による剣道基本技稽古法

- ・基本9指導上の留意事項
 - 【原本】…「斜め右下方向に打ち落とし」
 - 【講習会資料】…「斜め右下方向に打ち落とし」「刃部で真下(下方)に打ち落とす」

8. 日本剣道形

- ・共通理解がまだまだ浸透していないので今一度見直してほしい
 - 講習会資料の熟読をお願いする
 - 太刀四本目切り結びの位置 「刀の中央部」から「刀身の中央部」に変更されている

9. 指導法

- ・基本中の基本である「剣道着・袴・剣道具の着装や扱い」「竹刀」「礼法」の指導がおろそかになっている
 - 剣道指導要領を読んでいただきたい
 - 手ぬぐいの置き方や袴を履くときの足の入れる順番等は知っているのか？
 - 結びについて 結びの位置は？縦結びになっていないか？
 - “武道は礼に始まり礼で終わる”ではなく“武道は礼に始まり 礼をもって行い 礼で終わる”
- ・鏝迫り合いからの分かれや打突を練習する
 - 鏝ぜり合いからお互いが一機に分かれる練習をさせる
 - 鏝ぜり合いからの一瞬の崩しからの打突
 - 鏝ぜり合いになった瞬間の打突

10. 実技について

- ・木刀による剣道基本技稽古法
 - 基本1では、振り上げるのは45度まで
 - 基本2の小手は剣道形と違い小さくて良い
 - 基本3の払いは1挙動で行い、払ってから打つのではない
 - 基本5と8の胴は顔だけ相手に向ける
 - 基本6の摺り上げは斜め後ろではない
- ・日本剣道形
 - 講習会資料の通り指導をする(機を見て等)
 - 太刀1本目打太刀 左上段の左拳の位置は真ん中ではなく左目の上になる
 - 太刀4本目打太刀 2回機を見て打つタイミングがある
 - 太刀4本目打太刀 突きは左に相手の剣を抑えてながら突くように
 - 太刀5本目打太刀 顎まで切るので前傾にならない
 - 太刀6本目仕太刀 打太刀が攻めに負けて下がる時に大きく前に入る
 - 太刀7本目仕太刀 胴打ちは練度に応じて1挙動で打つ指導をする
 - 小太刀2本目仕太刀 残心は前に1歩出ずにその場で相手の腕を上から抑える(一步でる人が多い)
 - 小太刀2本目仕太刀 太刀を受ける時は肘を切られないように脇を締めて肘を内側にする
 - 小太刀3本目仕太刀 擦り込み時に右腕と小太刀はL字型にする。
 - 小太刀の刃について1本目と2本目は斜め下、3本目は真下
 - 小太刀の刃先について1本目は相手の顔中央 2本目は相手の胸部につける

